

社会資本総合整備計画書 (久慈市)

事後評価書

平成29年3月28日

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年3月28日

計画の名称	1 安全、快適なまちづくりに向けた街並み環境の整備		交付対象	久慈市											
計画の期間	平成24年度～平成25年度(2年間)														
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園施設の維持管理計画の策定と、計画に基づく効率的・効果的・計画的な維持管理を推進する。 ・大規模地震に備えた防災機能の向上と、市民が憩い、安らぎ、交流できる安全で安心な都市公園の整備を推進する。 														
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画を策定した都市公園0公園(H23)から9公園(H24)にする。 ・防災機能の強化、遊具等の更新、施設等の改修をした都市公園0公園(H23)から9公園(H25)にする。 														
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考									
				当初現況値 (H23実績)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)									
長寿命化計画を策定した都市公園数とする。 (あすなる公園、広美町児童公園、ひまわり児童公園、萩ヶ丘児童公園、久慈湊児童公園、小鳩公園、巽山公園、諏訪公園、久慈川河川公園)				0公園	9公園	9公園									
公園施設等を整備した都市公園数とする。 (あすなる公園、広美町児童公園、ひまわり児童公園、萩ヶ丘児童公園、久慈湊児童公園、小鳩公園、巽山公園、諏訪公園、久慈川河川公園)				0公園	5公園	9公園									
上段：計画 下段：実施															
全体事業費	合計 (A+B+C)	113百万円 35百万円	A	113百万円 35百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0% 0.0%					
事後評価															
○事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期										
久慈市建設部にて事後評価を実施					平成29年3月										
					公表の方法										
					久慈市ホームページにて公表										
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A 基幹事業															
上段：計画 下段：実施															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	公園	一般	久慈市	直接	久慈市	久慈市公園施設長寿命化計画策定調査(9公園)	都市公園数 N=9公園、面積 A=14.86ha 都市公園数 N=9公園、面積 A=14.86ha	久慈市						8	
														5	
1-A-2	公園	一般	久慈市	直接	久慈市	久慈市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(9公園)	都市公園数 N=9公園、面積 A=14.86ha 都市公園数 N=2公園	久慈市						105	
														30	
												合計	113		
													35		

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			<p>【長寿命化計画を策定した都市公園数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園施設利用の安全性確保やライフサイクルコスト削減を観点とした計画策定により、各施設の安全性の把握および計画的な維持管理が推進された。 <p>【公園施設等を整備した都市公園数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園施設等の整備を進めることにより、防災機能の強化や公園利用者の安全性の向上が図られた。 										
II 定量的指標の達成状況	指標(長寿命化計画を策定した都市公園数)	最終目標値	9公園	目標値と実績値に差が出た要因	計画通り事業の実施を行うことが出来た。								
		最終実績値	9公園										
	指標(公園施設等を整備した都市公園数)	最終目標値	9公園	目標値と実績値に差が出た要因		平成23年度に発生した東日本大震災に伴う復興事業の推進を優先したことにより、事業実施時期を見直したため。							
		最終実績値	2公園										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)													
3. 特記事項(今後の方針等)													
<ul style="list-style-type: none"> 策定した長寿命化計画に基づき適正な維持管理を行い、公園利用者の安全・安心の確保を推進する。 													

